

先進自治体に学んで

総務経済常任委員会（10月22日～24日）

視察研修報告

広島県庄原市と福岡県みやま市のキャッシュレス・地域通貨の取組について、また、福岡県大木町と長崎県東彼地区清掃工場のごみ処理の取組について視察を行いました。

キャッシュレス・地域通貨（カード）は、地域内で利用されているため地域経済活性化に寄与しており、チャージ機能があるか否かで、経済効果に大きな違いがありました。高齢者の方に分かりづらいことや利用店に偏りが生じているため、導入にあたっては様々な角度から検討する必要があると感じました。

ごみ処理の取組は、ごみの減量化がその後の処理に大きく影響していました。減量化には、徹底した分別と3R（リデュース、リユース、リサイクル）が必要でした。また、ごみをはじめとした環境問題は、子供を通して大人への啓発にもつながることから、小さいときからの教育が重要であると感じました。



地域通貨（庄原市）



生ごみ・し尿等の発酵（大木町）



ごみ処理の流れ（東彼地区清掃工場）

教育福祉常任委員会（10月28日～29日）

① 鳥取県琴浦町

「廃校を活用した熱中小学校」

旧以西小学校を活用し、「大人の学び場」を設け人材育成を行っています。現在、全国に広がり、新しいスキルの習得、人とのつながり、自分の可能性を広げる機会になっています。

② 広島県神石高原町

「行政と住民の協働体制」

旧4町村が協働支援センターを設置し、行政に依存しない住民による地域づくりを推進しています。三和支援センターでは人材バンクや住民支援、フリーマーケットなどを行い、持続可能な地域づくりを実践しています。

③ 広島県福山市

「不登校児童生徒の支援」

校内フリースクール「きらりルーム」、校外フリースクール「かがやき」、外出が難しい子どもには「メタバース」を活用し、学校復帰や自立に向けたで成果が上がっています。

※メタバース インターネット上に広がる仮想空間を使い、会話や共同作業ができるもの。

④ 広島県海田町

「子育て支援の取組み」

かいたネウボラを実践しています。特に、子育て家庭目線での制度設計と妊娠期から切れ目のない子育て支援として、土曜日にパパ子育て講座を開催しています。

※ネウボラ 妊娠期から就学前まで、切れ目のない子育てを支援する公的サービスのこと。



琴浦町



神石高原町